

「沖縄振興功績者表彰」を実施

仕事の窓

総務部

BUSINESS REPORT 1

沖縄の特性を活かし 振興に貢献

五 月十八日(水)、かりゆしアーバンリゾート那覇において、「沖縄振興功績者表彰」の表彰式を開催しました。

竹林局長は受賞者へのあいさつの中で「沖縄の本土復帰以来、県民を挙げて努力が続けられ、沖縄の社会経済は着実に発展してきており、近年、気候・風土など沖縄の特性を活かしたブランドの確立や、本土にはない特色のある商品開発による事業展開など、沖縄の振興に多大な貢献をされている企業、団体が多くなっている。こうした優れた活動は、様々な工夫や、ユニークな着想等によるものであり、実績をあげてこられた方を顕彰することによって、他の方々の励みになり、意欲も刺激されていくことを期待している。」と述べました。

このように、本表彰は、沖縄の振興に功績があり、今後の事業展開・運営等の模範となる企業、団体又は個人を

広く表彰することにより、沖縄における創業や事業展開等の意欲を喚起して、沖縄の一層の振興発展を図ることを目的として、本土復帰記念の日にあたる五月十五日に実施することとしているものです。

今

回は、Tシャツその他の観光関連商品の開発等を通じ、沖縄発本土展開のロールモデルを示し、沖縄の地域ブランドの向上に貢献した「手作り館工房 海人(株)」、体験農園を運営し、食育、都市農村交流などの活動を通じ、農業農村への理解の醸成、農村活性化に貢献した「当山君子氏」、宮古和牛の繁殖方法に創意工夫を凝らし、生産規模を拡大させるとともに、技術講習会、先進地視察等を



企画し、宮古和牛の改良、増頭に貢献した「渡真利弓子氏」、沖縄の健康食品業界において、積極的な商品開発をするなどその商品は高い評価を受けており、同業界のパイオニア的存在として貢献した「(株)仲善」、世界初となるバンドウイルカの人工尾びれの開発を通じ、生物学的に

イルカの尾びれが持つ役割の解明について貢献するなど国内外で注目を集め、観光振興の面でも多大な貢献をした「バンドウイルカ「フジ」人工尾びれプロジェクトチーム」の5組であり、竹林局長から表彰状の授与が行われました。

